

ICT を利活用して防災と 地域情報の交流をどう進めるか

近年、災害は忘れた頃にやってくるのではなく、頻繁に日本列島を襲ってきています。

“ICT の防災への活用”を考えると共に、“平時における地域情報の交流”を
どう進めたら良いかについて考えます。

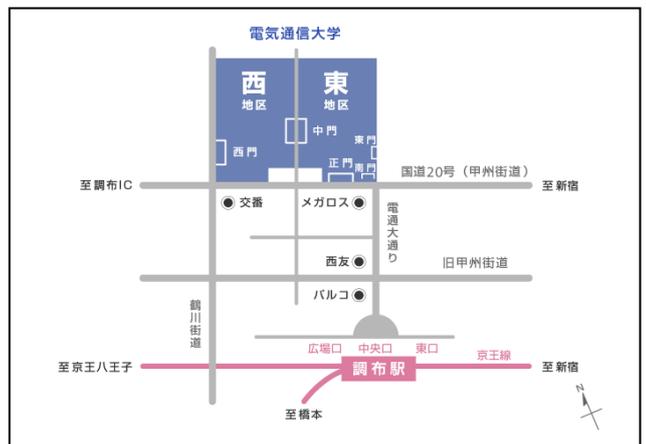
(注) ICT(情報通信技術)

2014 **10/25** (土)

14:00~17:00 (13時30分開場)

- ◆会場：電気通信大学 東3号館3階
マルチメディアホール(301号室)
- ◆基調講演・講演・事例紹介
- ◆パネルディスカッション
- ◆参加費：無料・先着100名
(当日受付可)

17:30~19:30 情報交流会
大学会館内レストラン「ハルモニア」
会費 3,000円



主催：総務省関東総合通信局、関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会、

共催：国立大学法人 電気通信大学

後援：調布市、NPO 法人調布市地域情報化コンソーシアム

企画・運営：NPO 法人調布市民放送局

スケジュール

(敬称略)

14:00～14:10

開会あいさつ

総務省 関東総合通信局長
調布市長

渡辺 信一
長友 貴樹

14:10～14:30

基調講演

「情報化の進展と地域社会の防災・情報交流」

三木哲也(国立大学法人 電気通信大学 特任教授)



14:30～15:10

講演

「地理情報の防災・地域活動への活用」

山本佳世子(国立大学法人 電気通信大学 大学院
情報システム学研究所 准教授)



「ICT 地域防災情報支援調布市フィールド試験の報告」

記録 DVD 放映 (NPO 法人調布市民放送局)

15:10～15:50

事例発表

「調布マッピングパーティーの活動」

古橋大地(東京大学 空間情報科学研究センター 特任研究員)

AR アプリを使った『一時滞在者・防災避難情報運用の実証試験』

古川 勝(NPO 法人 AR 防災避難情報 代表理事)



「AR を活用した広報について」

城戸雅幸(調布市行政経営部広報課参事)

(注) AR (Augmented Reality) : 日本語では「拡張現実」と言われ、
現実事象への IT 情報の付加・処理などを行う技術のこと



15:50～16:00

休憩

16:00～16:55

パネルディスカッション

「ICT を利活用して防災・地域情報の交流をどう進めるか」

司会進行:三木哲也(国立大学法人 電気通信大学 特任教授)

パネラー:渡辺信一、長友貴樹、山本佳世子、古橋大地、古川勝

16:55～17:00

閉会の挨拶

※講演等テーマは変更になることがあります。予めご了承ください。

下欄にご記入の上、FAX 或いは E-mail でお申込み下さい。

地域連携調布フォーラム 参加申込書

お名前 (フリガナ)	所属団体名
ご住所〒	
電話番号	E-mail

◆フォーラム終了後の情報交流会(会費:3,000円、場所:ハルモニア)への参加⇒ はい いいえ

◆宛先:関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会事務局 FAX:03-6238-1698 E-mail:it-npo@soumu.go.jp

(関東総合通信局情報通信連携推進課)

※10月24日までにお申し込みください。定員100名になり次第、締切とさせていただきます。

※ご記入いただきました個人情報は、当フォーラムの連絡のみに使用いたします。